

芸術工学会 2022年度春期大会 シンポジウム

医療福祉が求めるアート

ヘルスケアアートの展望 **参加無料・要事前申込**
学会員以外の方もご参加いただけます

Society for Design and Art Fusing with Science and Technology

2022年6月11日[土]

13:30-17:30 13:00開場

名古屋市立大学芸術工学部 M101 教室

+オンライン



病院職員の働く姿をとらえた写真展「病院のまなざし」/チャ・アート



京都芸術大学の HAPii+ が京都大学医学部附属病院に実施したアート

申込方法 6/10申込締切

QRコードの申込フォームから送信
ください。開催日前日までに入力
いただいたメールアドレス宛に参
加のご案内が届きます。 ▼申込フォームURL



<https://forms.gle/ihwuZFP5C8cHEFkH8>

※事前申込が間に合わなかった方も、リアル会場受付で
お名前等記入いただければご参加いただけます。



芸術工学会
Society for Design and Art
Fusing with Science and Technology

主催：芸術工学会 <https://sdafst.or.jp/>
協力：名古屋市立大学芸術工学部環境デザイン研究所

医療福祉施設を利用する人々のストレスを軽減し、前向きな気持ちを引き出すヘルスケアアートの試みが進んでいます。ここではアート制作の主体、医療とアートの調整、アートの題材と質の観点から、医療福祉が求めるアートについて議論をします。医療とアートの出会いは、健康で持続可能な社会と人々のウェルビーイングを目指すものであり、感性と技術の交点でデザインの可能性を追求する芸術工学分野に新たな視点をもたらします。



高野 真悟 Shingo TAKANO

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 研究員、彫刻家
病院における参加型のアート活動の可能性

◀東部医療センター新病棟のヘルスケアアートをスタッフとともに



岩田 祐佳梨 Yukari IWATA

NPO法人チア・アート 理事長、筑波大学 研究員
医療とアートをつなぐ病院の
アートコーディネーター

◀病院エントランスの改修



由井 武人 Takehito YUI

京都芸術大学 講師・ホスピタルアートプロジェクト
「HAPii+」担当、画家

学生によるアート制作の質とプロセス

◀HAPii+の活動で病院壁画を描く京都芸術大学の学生たち



スケジュール

※内容は変更になる
可能性があります

- 13:30-13:35 開会の挨拶
- 13:35-13:50 趣旨説明：鈴木
- 13:50-14:40 講演 1：高野
- 14:40-15:30 講演 2：岩田
- 15:30-15:40 休憩
- 15:40-16:30 講演 3：由井
- 16:30-17:25 ディスカッション
- 17:25-17:30 閉会の挨拶

【進行・趣旨説明】

鈴木 賢一 Kenichi SUZUKI

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 教授
なごやヘルスケア・アートマネジメント事業実行委員長



会場アクセス

名古屋市立大学 北千種キャンパス 芸術工学棟 M101 教室
〒464-0083 名古屋市千種区北千種 2-1-10

※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でお越しください

地下鉄ナゴヤドーム前矢田駅から▶1番出口より徒歩15分

名古屋駅から▶名古屋駅バスターミナル10番のりばより基幹2「萱場(かやば)」下車

地下鉄栄駅から▶「オアシス21」3番のりばより基幹2「萱場(かやば)」下車

地下鉄池下駅から▶3番のりばより幹砂田1「清明山」下車 徒歩3分

問合せ

芸術工学会 2022 春期大会実行委員会

mail : geikou.conference2022@gmail.com

TEL : 052-721-1225 (名古屋市立大学芸術工学部)

参加申込
フォーム



※オンライン参加の方には、開催日前日までに参加のご案内がメールで届きます。
案内が届かない場合は、上記の問い合わせ先にご連絡ください。

